



半田っ子通信

桑折町立半田醸芳小学校だより
令和3年12月7日 No.34
文責 校長 遠藤 和宏

＜重点目標＞ 夢に向かって突っ走れ！ 努力できる子 半田っ子

個別懇談ありがとうございました

12月1日から6日にかけて個別懇談がありましたが、保護者の皆様には、大変お忙しい中、学校においていただき、ありがとうございました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、保護者の皆様がお子さんの活動を見る機会が少なくなったり、担任が保護者の方と懇談する機会が減ったりしました。その意味からも、今回は大変貴重なお時間となりました。学校でのお子さんの頑張る様子をお伝えできましたし、ご家庭で感じられるお子さんの成長についても知ることができました。子供の教育については、学校と家庭が一緒に考えていくことが大切です。今回の懇談を今後の教育活動にしっかりと活かしてまいります。ありがとうございました。

ネット・ゲーム依存の予防と対応について

先日の町連P委員会で、福島県立医科大学教授の横山先生の講演「学校におけるネット依存の予防と対応」について、話題にあがりました。

「依存症」とは、身体的、精神的、社会的な幸福に反する結果を招くにもかかわらず、薬物や不適切な行動を反復してしまうことです。依存症の怖いところは、禁断症状が存在すること、依存対象を探し求めること、依存対象のためなら何でもしてしまうことです。つまり、**ネット・ゲーム依存の場合、それができないと、禁断症状があらわれ（落ち着かない、イライラする、不安を感じるなど）、他の楽しみに興味がいなくなり、ネットやゲームをやるために何でもしてしまうこととなります。**

それとともに、**基本的な生活習慣の大切さ**も話があったそうです。つまり、①早寝早起き朝ご飯、②メディア制限、③しつけ三原則（あいさつや返事、くつそろえ）、④お手伝いについて、子供のうちに身につけなければ、将来に影響（仕事が長続きしないなど）するのだそうです。

ネット・ゲーム依存にも関係する「睡眠」については、驚きのデータがありまして、福島市の場合（ふくしまし健康作りプランより）ですが、3歳半で21時までに寝る子どもの割合が17.7%（H28年度）だそうです。この数字をどう見るかです。全国学力調査全国1位の秋田県では、由利本荘市の場合、5歳児であっても99.2%だということです。睡眠不足は、セロトニンという神経伝達物質の分泌に影響し、うつ状態、睡眠障害、発達の遅れ、キレる！暴れる！につながるそうです。**規則正しい生活は、健全な心身の成長に欠かせないものですね。**



おめでとう！！

第35回県小学校児童画展

児童画展賞 2年 阿部 琴音さん

県内198点の応募の中から、2学年の

最高賞を受賞しました。おめでとう！！

子どもたちの活躍の様子をホームページにてお知らせしています。

半田醸芳小

検索